

日本人のスギ花粉症

テレビの天気予報を見ると、いつも、晴れ、雨、曇りなどのマークが出てくる。ところが、毎年2月に入ると、各県ごとに女性の顔が出てくる。その中には、マスク（口と鼻を覆う白い布）をしている女性もいるが、これは何のマークだろうか。インフルエンザ（流感）のマークではない。花粉症が猛威をふるう季節が来たので、スギの花粉が大量に飛びそうな県の女性はマスクをして注意を呼びかけているのだ。これを「花粉情報」と呼んでいる。

花粉を吸い込んで、かかる病気を「花粉症」と言う。人には体内に入った異物の蛋白質を排除しようとする免疫反応がある。アレルギー体質の人が、長年スギの花粉を吸っていると、免疫反応が過剰に起こり、目、鼻の粘膜を刺激し、目が充血して、涙やくしゃみが止まらなくなる。この病気は30年ほど前に発見された。アンケート分析によると日本人の10人に3人は花粉症に悩まされているようだ。アレルギー症状は、鼻、目が圧倒的に多く、その他、のど、皮膚、気管支などにも出る。マスクの女性が出たら、アレルギー体質の人は外出を控えるか、花粉が目、鼻、口に入らないようにサングラスやマスクをしたうえで風の向きや強さに気をつけて、外出したほうがいいだろう。

スギの花粉が風に乗って飛び散る様子を見たことがある。強い風が吹くと、何千本というスギの雄花から花粉が一斉に吹き飛ばされる。米粒大の雄花なの一つ一つに約40万個の花粉が詰まっている。この花粉が、霞のようにたなびいて、スギの林が見えなくなるほどだ。花粉症をおこす草花は、北アメリカではブタクサ、ヨーロッパではカバの木やコナラなどだが、日本では花粉症の8割をスギ花粉症が占めている。それは日本にスギの木が多いからだ。

理由は二つある。第一の理由は、第二次世界大戦後、日本は荒れた国土を緑にしようと、スギの苗を全国各地に植えた。20年後、そのスギが育ち、毎年春になると花粉が飛ぶようになったからだ。第二の理由は、日本人の食生活が欧米風になって、アレルギーを起こしやすくなったからだと言われている。スギ花粉症は、まさに日本人の現代病と言えるだろう。

花粉症は薬で、症状を軽くおさえることができる。またスギの花粉が飛ぶのは、2月初めから4月にかけてで、この季節が終われば自然になおる。それで、このシーズンが来ると、都内のデパートには花粉症対策グッズコーナーがお目見えし、メーカー各社からは、新型マスクから情報提供までの「花粉症商戦」が花盛りとなる。

東京新宿のデパートにオープンした「花粉症対策グッズ」コーナーには、マスク、眼鏡、目薬、鼻炎用の薬、空気清浄機、スチーム吸入器などがずらりと並んだ。吸入器は「昨シーズンは生産が追いつかなかったが、今年は増産体制をとっている」そうだ。数社が吸入器を発売しているので、シェア争いが始まっている。マスク、眼鏡は、花粉をできるだけシャットアウトして、しかも見た目には目立たないことがポイントだそうで、商品のモニターテストでは花粉遮断効果はかなりあることがわかった。マスクの場合は、ぬれたガーゼ1枚をマスクの中に重ねることで、効果がさらにアップするという。

空気清浄機では、空気を回転させずに、磁気で空中の花粉を取り除くタイプのものも登場している。またある会社では、日本気象協会の協力を得て、スギ花粉情報のテレホンサービスを関東を初め、他の地方でも実施するそうだ。

さて、春先になって、マスクとサングラスをかけた日本人が急に増えるわけがわかってもらえただろうか。

単語

スギ Japanese Cedar (tree)

かふんしょう

花粉症 hay fever, pollinosis (allergy to pollen)

くも

曇り cloudiness, cloudy weather

おお

覆う to cover, to hide, to conceal

りゅうかん

流感 influenza, flu, cold

もうい

猛威をふるう raging (fury)

いぶつ

異物 foreign substance

たんぱくしつ

蛋白質 protein

はいじょ

排除(する) exclude, removal, elimination

めんえき

免疫 immunity

はんのう

反応(する) reaction, response

たいしつ

体質 constitution (physical), genetic make-up / 体の質

かじょう

過剰 excess, over-

ねんまく

粘膜 mucous membrane

しげき

刺激 stimulus, impetus, encouragement, motivation

じゅうけつ

充血 congestion (with blood)

くしゃみ(する) sneeze

ぶんせき

分析(する) analysis, analyze, anatomize, dissect

しょうじょう

症状 symptoms, condition

あつとうてき

圧倒的(な) overwhelming, overpowering

きかんし

気管支 bronchial tube

ひか

控える to be temperate in, to hold back

おほな

雄花 male flower

いっせい

一斉に together, all at once / 同時に

つ

詰まる to choke, to clog, to fill

かすみ

霞 1. 霧 2. dimness (of sight)

たなびく to trail, to hang (smoke, clouds)

ブタクサ Ragweed (plant)

カバ Birch (tree)

コナラ Konara oak (tree)

あ

荒れる to be stormy, to be rough, ruined, wasted, ravaged

なえ

苗 seedling, sapling

う

植える to plant, sow, pot

まさに exactly, surely, certainly

おさえる to hold back, suppress, contain, restrain

たいさく

対策 counter-plan, counter-measure

めみ

お目見え(する) debut / デビュー

はなざか

花盛り bloom, boom, peak

びえん

鼻炎 nasal inflammation

せいじょう

清浄(な) pure, clean, purity

ずらり in a row

お

追いつく to overtake, to catch up, to gain up (upon)

たいせい

体制 order, system, structure, organization, framework

めだ

目立つ to stand out

しゃだん

遮断(する) blockade, interception, isolation, cut off

じき

磁気 magnetism

と のぞ

取り除く to remove, to clear, to ease (of), to relieve

じっし

実施(する) practise, operation, implementation, execute